

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成27年7月2日(2015.7.2)

【公開番号】特開2014-103003(P2014-103003A)

【公開日】平成26年6月5日(2014.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2014-029

【出願番号】特願2012-254506(P2012-254506)

【国際特許分類】

H 01 M 4/52 (2010.01)

【F I】

H 01 M 4/52

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月14日(2015.5.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

芯粒子とその表面に形成された被覆層で構成されたアルカリ二次電池正極活物質用被覆水酸化ニッケル粉末であって、芯粒子が水酸化ニッケル及び被覆層がコバルト化合物からなり、被覆水酸化ニッケル粉末10gに対して水10m1を加えて懸濁液としたとき、該懸濁液の25基準のpHが10.2以上、13以下であることを特徴とするアルカリ二次電池正極活物質用被覆水酸化ニッケル粉末。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

ニッケル含有水溶液にアンモニウムイオン供給体を含む水溶液とアルカリ水溶液を供給し、水酸化ニッケル粒子を中和晶析させて芯粒子を得る晶析工程と、スラリー中で芯粒子の表面に水酸化コバルトからなる被覆層を形成する被覆工程と、スラリーを攪拌しながら被覆層である水酸化コバルトを酸化させる酸化工程と、得られた被覆水酸化ニッケル粉末を洗浄する洗浄工程と、洗浄後の被覆水酸化ニッケル粉末を乾燥する乾燥工程とを具えるアルカリ二次電池正極活物質用被覆水酸化ニッケル粉末の製造方法であって、

洗浄工程において、被覆水酸化ニッケル粉末10gに対し水10m1を加えて懸濁液としたとき、該懸濁液中のアンモニウムイオンの溶出量が0.35mmol/l以下になるまで洗浄することを特徴とするアルカリ二次電池正極活物質用被覆水酸化ニッケル粉末の製造方法。